

かけはし

Vol.92

2012年度

No.6

【ホームページアドレス】 <http://www.akunehp.com/>

阿久根市民病院は、地域医療の中核施設として人を大切にし信頼される医療を目指します。



「馥郁たる梅の香り」～藤川天神～

◆基本方針

1. 満足度の高い急性期高度医療の提供を目指します。
2. 十分な説明と納得による医療を心掛けます。
3. 「かかりつけ医」との密接な連携による医療を行います。
4. たゆまぬ向上心と学習により、より良い医療を目指します。
5. 公正で健全な運営を行います。

CONTENTS

*当院のKAIZEN活動の取り組み……………1	*外来診察表……………6
*麻酔科紹介……………2	*病院ボランティア募集……………6
*患者さんの権利と責務……………2	*3～4月の出水郡医師会
*リハビリの窓……………3～4	日曜祭日当番医……………7
*高気圧酸素治療の御紹介……………4	*お知らせ……………7
*鹿児島県身障者用駐車場利用証制度……………5	*医療機能情報提供について……………7
*新人紹介……………5	*編集後記……………7

広報誌「かけはし」は、当院のホームページでもご覧になれます。

3,4月の 出水郡医師会 日曜祭日当番医

変更になる場合がございますので、受診される前に医療機関にお問い合わせ下さい。



月 日	出 水 市	阿 久 根 市	長 島 町
3月 17日(日)	整形外科ばくちクリニック TEL 64-8260 こどもクリニック永松 TEL 64-1500	有村産婦人科・内科 TEL 73-4180	鷹巣診療所 TEL 86-0054
20日(水)	出水病院 TEL 62-0419 しもぞのクリニック TEL 63-8300	上園医院 TEL 73-1055	飯尾医院 TEL 88-5040
24日(日)	出水眼科 TEL 62-8350 境田医院 TEL 67-2600	内山病院 TEL 73-1551	長島クリニック TEL 88-6405
31日(日)	キッズクリニック TEL 63-7707 福永内科循環器科 TEL 62-8200	鶴見医院 TEL 73-0553	平尾診療所 TEL 88-2595
4月 7日(日)	よう皮ふ科医院 TEL 63-1112 東医院 TEL 67-1861	しみずこども医院 TEL 68-0633 黒木胃腸科外科医院 TEL 75-0200	飯尾医院 TEL 88-5040
14日(日)	奥田蘇明会医院 TEL 82-3998 つかさとクリニック TEL 67-5560	いまむらクリニック TEL 73-1700	鷹巣診療所 TEL 86-0054
21日(日)	整形外科ばくちクリニック TEL 64-8260 高尾野診療所 TEL 82-0017	門松医院 TEL 64-6100	長島クリニック TEL 88-6405
28日(日)	福元医院 TEL 67-3200 荘記念病院 TEL 82-3113	山田クリニック TEL 72-0420	平尾診療所 TEL 88-2595
29日(月)	吉田耳鼻咽喉科医院 TEL 62-0170 しもぞのクリニック TEL 63-8300	北国医院 TEL 72-0016	飯尾医院 TEL 88-5040

お
知
ら
せ

意見箱について

当院では、総合受付、各病棟の患者食堂など院内8カ所に意見箱を設置しております。当院へのご意見・ご要望などをお寄せ下さい。なお、回答・検討・改善事項を各フロアの掲示板に掲載していますのでよろしくお願い致します。



医療機能情報提供について



当院の病院機能やサービスについて県に報告したデータをもとに鹿児島県ホームページにて公開されております。閲覧も可能となっております。また、同内容を1階医療情報センター内で自由に閲覧できるよう冊子を配置しております。

鹿児島県ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/>

編
集
後
記

年度末は何かと忙しい日が続きますが、みなさんいかがお過ごしでしょうか？もうすぐ新年度です。職員一人一人が支えあい、よりよい医療を目指します。人と言う字は人が支えあって出来ていると言われますが、実際は二本の線の右の人が大きく支えているわけです。右の線は我々職員、左の線は阿久根市民病院です。職員一同、一丸となって頑張ります。
(入口)

当院のKAIZEN活動の取り組み

当院でのKAIZEN活動の取り組みは、2004年に始まりました。当初は、各部署で数名の小サークルの活動でした。活動の進め方もまだまだで院内研修を重ね指導が出来る職員の育成も同時に行いながら活動してきました。活動により業務の効率化や経費削減など良い結果に繋がった活動は院外（県外）での発表や院内発表大会で表彰されるなど活発な活動が行なわれてきました。



KAIZEN研修

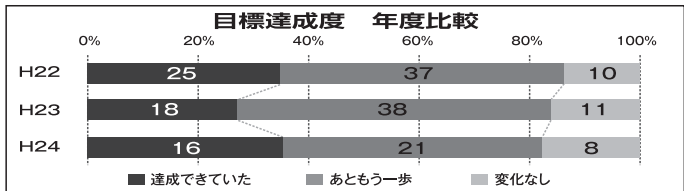
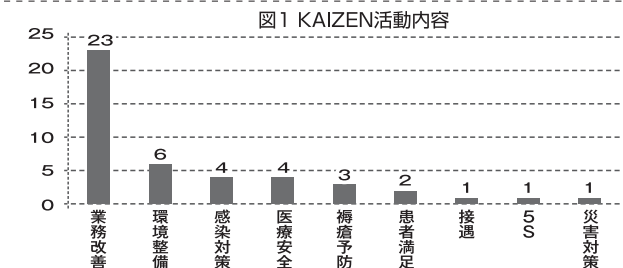
2010年4月に田辺院長より職員全員でKAIZEN活動に取り組みという方針が提示され、「安心安全」な医療の提供、健全な経営、良好な信頼関係など総合的質管理（TQM・トータルクオリティー マネジメント）体制が新たに設置され全職員で日常業務に改善手法を活用して活動するという取り組みが新たに始まりました。

忙しい業務の中、仕事以外で時間を作りサークル会合を重ね業務の効率化や環境改善（5S）等を行なってきました。併せて院内でKAIZEN活動の手法（QC手法）を理解してもらう為に、毎月研修を実施し現場の改善活動に活かし取り組みました。初年度は、院内で72サークルが登録し改善活動を行ないました。2011年度は70サークルの参加がありました。が、時間と会合メンバーの調整に苦慮する場面が多く、2012年度はサークル数を減らしメンバーを増員し45サークルの参加で活動しました。本年度の活動内容は、図1で示すように業務改善がほとんどでした。改善活動の成果は、年々上がってきており図2（目標達成度の年度比較）のようにサークルの半数が目標達成に至っています。優秀賞の6サークルの活動成果を簡単に紹介します。



KAIZEN研修(新人職員)

(文責：新井田)



KAIZEN活動成果発表大会（優秀賞6サークル）



H24年度KAIZEN活動の紹介

チューブの自己抜去をなくそう
(6F とれないちゃん)
チューブを入れている患者さんの自己抜去の傾向を分析し、今後の観察の視点や患者に合わせた管理方法の見直しの機会になった。

物品管理の徹底
(リハ AROUND THE WORLD)
リハビリ用歩行補助具の貸し出し状況確認できず所在の分からない物があり使用時困っていました。補助具貸し出し管理の手順を作成・周知した事で、所在が明確となり使いやすくなりました。

時間外診療費の支払手順と流れを統一させよう!
(医事課 そらいろ)
救急外来受診後の診療費について、支払手順の案内用紙を渡し説明した事で、流れが統一され、支払率もアップした。

適正な血液製剤管理を行う
(薬剤科 やくざ いっか)
血液製剤の管理は、法律にて適正な管理が定められており、使用状況の把握が重要である。これまでの管理では不十分な部分もあり、管理方法のルール化に取り組み、使用状況が把握しやすくなった。

言葉使いのクレームを減らした
(接遇PJ 気持ちは笑顔美人隊)
患者さんからの意見箱にて職員の言葉使いに関するクレームが目立ったため、職員研修やポスター掲示、お互いの言葉使いを見直す機会を作るなど行なった結果、6件のクレームが0件になった。

今後も「安心安全」な医療の提供のために、KAIZEN活動を継続・発展させていきたいと思えます。

麻酔科紹介

麻酔科というと、おそらくは大半の方が馴染みのない科だと思われがちです。もし病院内で麻酔科医を見つけたらと思うなら、病棟で探してもまず見つかることはありません。当院の常勤の麻酔医は2011年8月より僅かに1名。そして院内にいる時間の98%くらいは手術室の中におりますので、手術室にいらつしやるのがよろしいでしょう。もともと手術を受ける患者さん以外の方は原則立ち入り禁止となっておりまして、えっ？サービスが悪いのですか？申し訳ありません。では今日は特別に、全身麻酔で手術を受ける患者さんにどういう風に麻酔をかけるのかをご説明致します。

手術を受ける患者さんは病棟で点滴を採って術室に着替えた後に、手術室に入るとまず手術台の上で寝ていただきます。心電図、血圧計、酸素飽和濃度計などモニターを体につけます。血圧などを測って準備ができたから、点滴から眠るお薬と体中の力が抜けてしまうお薬などを入れます。すると、そうですね、

普通の方は30秒もしないうちに眠ってしまいます。…こっそりお教えしますと、息もしない位（！）深い眠りに落ちてしまいます。

さてそのままでは、窒息しているのと一緒に、私達麻酔科医は患者さんが眠られたらすぐに、口からプラスチックのチューブを入れます。大変細くて（通常7〜8mm）柔らかいものです。そこから酸素と麻酔ガスを入れます。機械でシューシューと規則正しく入れます。すると患者さん御自身は息もしないのですが、外から酸素が入ってくることに呼吸が続きますし、麻酔ガスも入ってくるので、意識もなければ痛みも感じない状態が続きます。この状態で手術をする訳ですね。ちなみにアルコールを沢山飲まれる方でもちゃんと麻酔はかかります。大丈夫です。そして手術が終わったら、麻酔ガスの方を切ります。すると酸素だけに切りますから、シューシューと何十回も機械で入れているうちに全身を回っていた麻酔ガスの方が

自然と抜けてきます。すると薬を使っても無理やり寝ているので、すから、薬が抜けてくると後は自然と目が覚めてきます。麻酔科医は意識や筋力、呼吸の回復を確認したら、口に入ったチューブを抜いて麻酔を終わります。術式などによって細かな違いも沢山ありますが大体こういう風に全身麻酔は行われます。あと全身麻酔以外にも、脊椎麻酔や神経ブロックなどでも麻酔は行われます。

当院の麻酔科管理の手術は年間約900件。手術室スタッフ16名とともに皆様をお待ち申し上げております。でもできれば手術を受けるような病気になる方はいいいでしょうが…。

(文責：松林)



挿管チューブ



手術室スタッフ

患者さんの権利と責務

～阿久根市民病院は患者さんの権利を尊重します～

- 1.だれでも良質な医療を公平に受ける権利があります。
- 2.個人の尊厳は、医療行為のあらゆる場面において尊重されます。
- 3.医学的な状態、診断、処置その他の個人情報保護されます。
- 4.治療・検査の方法、薬の内容等について十分な情報と説明を受け、理解した後、同意・拒否を選択する権利があります。
- 5.診療録等に記録された自己の診療内容について、本院の規則により、情報の提供を受ける権利があります。
- 6.自らの健康に関する情報をできるだけ正確に医療提供者に伝える責務があります。
- 7.病院の規則を守り、他の方の療養や職員の業務に支障を来さないように配慮する責務があります。
- 8.他の医師や第三者の意見も聞き、納得して治療を受ける権利（セカンドオピニオン）があります。

リハビリの窓

食事介助について〜環境作りと介助のポイント〜

高齢化社会の中で、介護を必要とされる方も近年さらに増加しています。特別養護老人ホームや老人保健施設へ入所されている方もいらっしゃると思いますが、居室サービス等を利用され、自宅で介護を受けている方々も多いのではないのでしょうか。

自宅での介護では、苦勞されている点が多々あると思います。その中でも、毎日介助が必要となるもので食事があります。そのため、介護者も苦勞する点の一つに含まれるのではないのでしょうか。生きていくなかで食べることは楽しみのひとつでもあります。

まず、介護を受ける方々の能力を知ること大切です。例えば、以下のチェック項目は元氣そうな高齢者でも加齢とともにみられるようになります。

- 【食事中の様子をチェックしてみましょう】
- 食事をよくこぼすようになった
 - 食べ物を口に溜め込むようになった
 - 飲み物を飲むのに時間がかかる
 - ムセたり、咳き込む回数が増えた
 - 唇の端からよだれを流している

□ 食欲が減り、残すようになった

※ チェックの個数が多いほど、飲みこみに問題がある可能性があります。これらの原因は寝たきりによる飲み込みの機能低下や脳の病氣などが考えられます。

どのような状況に、どのように対応すればよいのでしょうか？

まず、美味しく食べるためには食事環境を整えることが重要となります。

＊食事の環境＊

日中でも寝ている生活では、昼と夜の区別がつきにくくなります。食事前にカーテンを開けて、自然光を取り入れ、しっかり目覚めさせることも大事です。

また、「ランチョンマット」や「すくいやすい皿」「お気に入り」の皿」などを使うことで食事への意欲も高まります。



＊食事の前の準備体操（えんげ体操）＊

上手く飲み込めなくなる、首や肩、唇などに力が入ってしまいがちになり、更に飲み込みにくくなります。食べる前に、図のような準備体操をするので、飲み込みやすくなります。ぜひ、習慣にしましょう。



＊食べる時の姿勢＊

・ 頸を前方に少し曲げた姿勢で飲み込む（アゴの下に拳1個入るぐらいアゴを引く）

・ 車椅子の時は足を床につけて安定させ、上半身を立てるようにする。

例：足元に台を置く。背中にクッションを入れる。

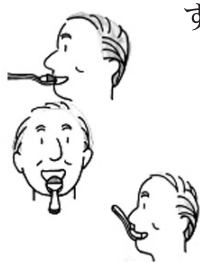


けではなく、足の方も上げて骨盤を安定させる。

＊食べさせ方のコツ＊

必ず同じ目線の高さでしましょう。

- ① 食べ物をまですっきり目で見えて、確認してもらう。
- ② 口の前まで食べ物を持ってきてもらっても、そこから先は自分の唇で口の中へ取り込んでもらう。難しい場合は、声をかけながらスプーンの先を唇に軽く当てる。
- ③ 一口量は、スプーンの3分の2程度を目安にし、口の中央からスプーンを直角に入れる。
- ④ しっかりと口を閉じたことを確認し、ゆっくりスプーンを引き出す。



＊食事後の歯磨き＊

・ 食べかすが残っていると雑菌が繁殖しやすく、虫歯や歯周病、また肺炎になる可能性もあります。食事後は必ず、口を清掃し、清潔にしておきましょう。自分でブラッシングできない場合

高気圧酸素治療の御紹介

合は、口腔ケア用のウェットティッシュなどを使って、食べかすや汚れを取り除いてください。

＊言語聴覚士が日頃行っていること＊

- ・ 顔面のマッサージ
- ・ 口腔ケア（歯ブラシを使用したブラッシング、ぬらしたガーゼでの拭き取り）
- ・ 口や舌など、飲み込みに関わる器官を動かす練習
- ・ 飲み込みやすい食事形態への調整、食べやすい姿勢への調整
- ・ 家族やスタッフに対して食事介助方法のアドバイスなどを行っています。

最後に・・・

言語聴覚士は「食べるリハビリ」をお手伝いさせて頂いています。聞きなれない職業だと思えますが、少しでも食事を美味しく安全に食べていただけるようなお手伝いができたらと思います。飲みこみで気になることがあります。ら、相談してくださいね。

（文責：別府）

高気圧酸素治療は御存知でしょうか。

高気圧酸素治療は、治療装置内で大気圧（0.1MPa）より高い気圧にして、100%の酸素を吸入するものです。

治療の目的は、何らかの原因で血液量が乏しくなり低酸素症をひとつの要因とした病気を治療することです。

通常、大気圧下で酸素を吸入すると血液中のヘモグロビンに酸素が結合して体中に運ばれるため、酸素濃度はヘモグロビン量に応じた分しか上昇しません。（結合型酸素）

一方、高気圧酸素治療ではヘモグロビンの量にかかわらず、気圧を上げると直接血液中に酸素が溶解込むため、血液中の酸素濃度が飛躍的に高まります。（溶解型酸素）

また、その他の効果として、高気圧を利用し腸閉塞で腸に溜まったガスを圧縮して腸管の動きを促進させたり、傷口に感染を起したときに高濃度の酸素で殺菌できる効果もあります。

実際の治療は、写真1の装置内に約1時間30分入っていたくこ

とになりますが、1回の治療時間が長いので、治療中は装置内の寝台から透明なアクリル筒を透して外部のテレビを見て過ごしてもらいます。

また、高濃度の酸素を使用するために、発火源は絶対に持ち込めないほか、専用の治療衣を着用していただきます。

高気圧酸素治療装置には一人用の「第1種装置」、多人数用の「第2種装置」があります。当院には「第1種」装置があり、平成8年より稼動しています。

治療は、医師の指示のもと臨床工学技士が担当して実施しています。

高気圧酸素治療対象疾患

- ・ 急性一酸化中毒等のガス中毒
- ・ ガス壊疽
- ・ 空気塞栓や減圧症
- ・ 熱傷
- ・ 腸閉塞
- ・ 頭部外傷後の意識障害や脳浮腫など22種類の疾患が対象となります。



室内の壁紙（患者さんの緊張を和らげる効果）



高気圧酸素治療装置

外来診察表						
診療科目	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
循環器内科 (一般内科)	立石 繁宜 下野 洋和	福元 大地 下野 洋和	安崎 和博 福元 大地	検査日	立石 繁宜 安崎 和博	予約検査
	(立石・下野)	(福元・下野)	(安崎・福元)	(江浦)	(立石・安崎)	
心臓血管外科		【第2】(熊本中央病院)				
神経内科	児玉 大介					
血液内科			新居 亮彦			
眼科	平瀬 純伸	平瀬 純伸	平瀬 純伸	手術	平瀬 純伸	予約検査
脳神経外科	手術	平原 正志	平原 正志	平原 正志	検査日	予約検査
整形外科	恒吉 康弘 富永 博之	富永 博之 海江田 光祥	恒吉 康弘 内山田 桜	手術	恒吉 康弘 富永 博之	予約検査
	内山田 桜	手術	手術		海江田 光祥	
泌尿器科	加々良 一朗 江浦 瑠美子	手術	加々良 一朗 江浦 瑠美子	加々良 一朗	加々良 一朗 江浦 瑠美子	予約検査
放射線科		堀之内 信	堀之内 信	堀之内 信	堀之内 信	
耳鼻咽喉科 (15:30まで受付)		診察日 (鹿児島大学・耳鼻咽喉科医)			診察日 (鹿児島大学・耳鼻咽喉科医)	
消化器病 センター	消化器内科	紙屋 康之		紙屋 康之 福森 光	福森 光	予約検査
	消化器外科	手術・回診	田辺 元 今村 博	手術・回診	今村 博 崎田 浩徳	予約検査
	緩和ケア外来		坂元/今村 (14:00~15:00)		坂元 昭彦 (14:00~15:00)	
	セカンドオピニオン外来		今村/田辺 (16:00~16:30)			
	胃カメラ 大腸カメラ	福森 光	福森/紙屋	溝部 典生 (熊本大学)	福森/紙屋 (大腸カメラ) 中村 直英 (クリニックなかむら)	紙屋 康之 (熊本大学・消化器内科) 【第1】立山 雅邦 【第2】横手 誠一郎 【第4】庄野 孝 【第5】横手 誠一郎
	肝臓内科	馬場 芳郎 (鹿児島厚生連病院/肝臓内科部長)	第1・3金曜日診察(受付 13:30~16:30)	要予約/要紹介		
	乳腺外来	吉中 平次 (鹿児島大学内分泌外科/教授)	第4木曜日診察(受付 14:00~16:00)	要予約/要紹介		

※ただし急患はこの限りではありません。

※外来受付時間は、初診の方は8:30~11:00、再診の方が8:30~11:30です。

※一般内科は循環器内科と併用の診療となる為、待ち時間等時間が生じる場合がございます。

※現在は消化器病センターのみセカンドオピニオン外来を設置、他科については通常外来の時間帯に随時対応しています。

※病院ボランティア募集※

阿久根市民病院では、患者さんのQOLの向上、地域の人々への病院理解、病院職員への啓蒙などを目的としてボランティアを募集しています。

活動内容

1 身の回りのお世話

花を生ける水を替える、著湯のみの洗浄、下膳、お茶くみ、食事介助、洗濯、買い物、洗髪、入浴介助、床頭台の清掃、ゴミ捨て

2 話し相手

筆談、手話、本を読む等

3 その他

院内の案内、散歩に連れて行く、ベッドの移動、荷物の搬送、清拭タオルのローリング、草刈花壇の整備等

(応募お問い合わせ)

出水郡医師会立阿久根市民病院 総務課まで

TEL73・13331

(内線371・374)

※どうぞお気軽にお問い合わせください。

かけはし Vol.92 (5)

鹿児島県身障者用駐車場利用証制度(パーキングパーミット制度)

本制度は、障害のある方や高齢の方、妊産婦の方など歩行が困難と認められる方に対して、県内共通の利用証を交付することで本当に必要な人のための駐車スペースの確保を図る制度です。

これに伴い、当院でも第1駐車場、玄関前駐車場に身障者用駐車場を設置しておりますが、「身障者用駐車場利用証」をお持ちでない方は駐車できないことになっております。また、駐車場の枠外に駐車される方がいらっしゃいますが、利用証をお持ちの方の駐車のためになりますので、本制度の主旨をご理解のうえ、御協力を御願いたします。

身障者用駐車場利用証

(緑色)

身障者用駐車場利用証
(パーキングパーミット制度)

障害者、高齢者
難病の方

【有効期間：5年間】

(赤色)

身障者用駐車場利用証
(パーキングパーミット制度)

車椅子常時利用者

【有効期間：5年間】

(オレンジ色)

身障者用駐車場利用証
(パーキングパーミット制度)

一時的に歩行困難な方

【有効期間：1年未満】

車内のルームミラーにかけるなど、外側から見えやすいように表示して下さい。

※利用証の申請・交付はハートピアかごしま、地域振興局、県庁障害福祉課で行っております。

≪申請受付時間 8:30~17:00≫

- ハートピアかごしま
〒890-0021 鹿児島市小野1-1-1 ☎ 099-220-5165 Fax 099-220-5166
- 北薩地域振興局保健福祉環境部地域保健福祉課
〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228-1 ☎ 0996-23-3166 Fax 0996-20-2127
- 県庁障害福祉課
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 ☎ 099-286-2746 Fax 099-286-5558

※当院窓口では申請・交付は行っておりません。

新人紹介

循環器内科・医師

しもの ひろかず

下野 洋和

鹿児島県出身

趣味はスポーツ観戦です。経験も浅いですが、精一杯がんばりたいと思います。よろしくお願いします。